

ほうかく き くきょう
89. 方格規矩鏡

■ 指定日

平成16年3月30日

■ 種別

有形文化財 考古資料

■ 年代

古墳時代前期

■ 所在地

朝来市山東町大月 埋蔵文化財センター

■ 所有者

朝来市



■ 内容

昭和63年(1988)に馬場19号墳(柿坪)から出土したもの。

中央には、方形の区画が存在し、そのなかに十二支のうちの「丑」と「未」を読み取ることができる。方形区画のまわりには、アルファベットのT・V・L字形の文様が配置されており、V字形をはさんで鳥を表現している。文様は、和田山町の城ノ山古墳から出土した鏡と類似している。県内では8例が知られている程度であり、学術的に貴重なものである。